

1 本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

## 2 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) 走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3) 走幅跳、三段跳は胸だけでもよい。
- (4) トラック競技種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (5) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、係に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップ場として占有利用の場所は別途設けない。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 北陸上競技場のトラック全面は、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り 7 時 30 分から 8 時 50 分まで使用できる。

※ レーン使用区分は原則として次のとおりとする。

1・2 レーンは中・長距離、3～5 レーンは短距離、6・7・8 レーンはリレー、ハードル競技に関しては別途時間を設ける

※ トラックの第 1 種目である 4×100mR 以降も競技の進行に支障がない範囲でバックストレート等を使用できる。

※ 地下駐車場、野球場の軒下での場所取り、ウォーミングアップは厳禁。

## 4 招集について

- (1) 招集は競技開始 10 分前（投擲は 20 分前）に現地招集とする。いなければ棄権、失格とする。
- \* リレーのオーダーは競技開始 60 分前までに記録室前のバラプロにオーダーを記入する。

## 6 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① すべて写真判定装置を使用する。
  - ② 本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
  - ③ レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。800m 以上は競技役員の指示に従う。

- ④ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- ⑤ 直線のトラック種目については気象状況により、逆走にて競技を行う場合がある。その場合はスタートが南ゲート側になる。また、選手はゴール後各自のレーンに沿って右に曲がる。

(2) フィールド競技について

**① すべて3回試技とする。**

- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。

- (2) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。(競技規則TR6-3)

## 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更することがある。中学生種目については審判の判断に従う。)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m60/1m80/1m90	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95 まで5cm以降3cm
女子走高跳	1m30/1m50/1m60	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65 まで5cm以降3cm
男子棒高跳	3m60/4m20/4m80	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	以降10cm
女子棒高跳	2m00/3m00/3m40	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降10cm

※ 棒高跳は、競技場所で棒高跳支柱位置申請を口頭で行う。

※ 第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳 2cm 棒高跳 5cm とする。

○ 三段跳の踏切板は男子 11m、女子 8mで行う。

## 8 競技用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」および投てき器具は検査を受けて使用することができる。投てき器具については主催者が一括で借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。

## 9 競技用靴について (競技規則TR5. 2WA: C2. 1参照)

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

なお、スパイクピンの数は11本以内とする。800m未満のトラック種目では、靴底の厚さが20mmを超えるシューズ、800m以上のトラック種目では25mmを超えるシューズは使用できない。

## 10 表彰について

当日の表彰は行わない。後日、賞状等を授与する。

## 11 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」を強く要望する。

競技場周辺のコンビニエンスストア・自動販売機・地下鉄の駅などにごみを捨てない。

## 12 その他

- (1) 本大会は記録速報（QRコード）を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (4) 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内（結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする）に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に「抗議申立書」で申し出る。
- (5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に周知する。
- (6) 各校の競技場内で控え場所については別途 HP に記載する